

— 歳月を経るほど、美しくなる。 —

登録有形文化財への登録に向けて

日野市の図書館 歩みと建築

2025.2.1 sat

先着50名
要申込

開場 17:45 / 開演 18:00
於：日野市立中央図書館

【講談】田辺 凌鶴 講談協会所属 講談師

【講演】松隈 洋 神奈川大学教授
京都工芸繊維大学名誉教授

※申込多数の場合、市外の方の申込みは抽選となる場合がございます

要申込・入場無料

登録有形文化財への登録に向けて

日野市の図書館 歩みと建築

2025年2月1日(土) 開場17:45-／開演18:00-
於：日野市立中央図書館

講談 「日野の移動図書館ひまわり号」(田辺 凌鶴氏)

講演 「建築家・鬼頭梓が図書館建築に求めたもの」(松隈 洋氏)

日野市の図書館は、昭和40年(1965年)に1台の移動図書館から始まりました。それから8年後の昭和48年(1973年)4月に、中央図書館は開館いたしました。公共図書館のモデルとして評価されている中央図書館は、開館50年を迎えたことを機に国の登録有形文化財への登録を目指しています。日本の図書館の歴史を語るうえで欠くことのできない本建築物の意義について、市民の皆さまと共有し機運を盛り上げるため、講談師の田辺凌鶴氏と、中央図書館を設計した建築家・鬼頭梓氏の研究者である神奈川大学教授の松隈洋氏をお迎えして講演会を開催します。

ゲスト

田辺 凌鶴 Ryoukaku Tanabe 講談協会所属 講談師



2000年田辺一鶴に入門。2011年新作講談「お掃除ホームレス」が国立演芸場清栄会奨励賞受賞。2012年真打昇進。より多くの方に講談を身近に感じてもらうと新作講談の自作に力を入れている。偉人伝から日常のできごとまで、自作の新作講談の数は200を超える。

松隈 洋 Hiroshi Matsukuma 神奈川大学教授 京都工芸繊維大学名誉教授



1957年生まれ。1980年京都大学建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。2008年10月同教授、2023年4月から現職。主な著書に『建築の前夜 前川國男論』(日本建築学会論文賞)、『ル・コルビュジェから遠く離れて』など。

詳細

【申込方法】

Web
(先行)

2025年1月1日(水)0時～受付開始
図書館HP公開のお申込みフォーム
※右の二次元コードからアクセスできます



来館

2025年1月5日(日)10時～受付開始
市内各図書館の窓口(各館の開館時間中のみ)

※定員50名(先着)。入場無料。

※申込み多数の場合は市民の方を優先したうえで抽選。

※抽選の場合、1月22日(水)～24日(金)ごろに、当選の受付番号を市内各図書館や図書館HPに掲示します。

【会場・お問合せ先】

日野市立中央図書館 ☎042-586-0584

〒191-0053 東京都日野市豊田2-49-2

【アクセス】

豊田駅南口から徒歩6分。駐車場あり(無料)
駐車場はスペースが限られていますので、
公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

